

平成 29 年度 照隅認定こども園 事業報告

近年、少子化、高齢化や都市化、過疎化また核家族化の進展など、人口構造の急激な変動や女性の社会参加の増加などによる社会環境の変化は、子どもの育ちと子育てに様々な影響を及ぼしています。

核家族化の進行により、家族では親から子へと受け継がれてきた子育ての知識などが伝わりにくくなり、つながりが弱くなった地域社会は子育てを支え合ってきた文化を失いつつあります。

子育てに不安を抱く親への支援や児童虐待への対応など、子ども・子育てをめぐる社会的な課題はますます大きくなってきています。特に子育てが孤立化する中、若い親に知恵を与えてくれる人が身近にいない結果として、たどりつくプロ集団が認定こども園や保育園であり、その役割は大変重要なものとなっています。また都市部では待機児童問題、地方では子どもの人口減少があり、認定こども園はどちらの場面でも、かつてなかったような役割を担わなければならなくなっています。子ども・子育て支援制度が始まり、2年が経過しましたが、子ども・子育てをめぐる環境は今なお大きく変化し続けています。

当園にとっては、今年は新設3年目にあたり、かつ保育園から保育所型認定こども園へかわるなど大きく変化した1年でもありました。そのような状況を踏まえ、今まで以上によりよい教育・保育を実践し、地域社会の要望に答えたく以下の事業内容を実施しました。

【内容】

	重点実施項目	実行内容	実施結果
地域貢献の視点	1. 子育て家庭への保育園機能の解放 2. 子育て等に関する相談や援助の実施 3. 子育て家庭の交流の場の提供及び交流の促進 4. 地域の子育て支援に関する情報の提供 5. 老人とのふれあいを通じて地域文化の伝承と老人の孤立の防止 6. 園行事の地域への開放による地域の活性化と子育て、子育ての支援	1. 毎週1回（開放のみ）月1回（保育あり）の園庭開放、月1回のすくすく子育て教室の実施 2. 随時相談を実施。園庭開放、すくすく子育て教室時にも受付 3. 毎週1回（開放のみ）月1回（保育あり）の園庭開放、月1回のすくすく子育て教室の実施、地域交流のための公共の場における絵本の読み聞かせ会（出前保育）の実施 4. 掲示板による、子育て情報の掲示 5. 老人施設訪問 6. 七夕会・地藏盆・運動会・造形展・もちつき七草粥・豆まきなど公開行事の実施	1. 毎月の園庭開放は計12回、子育て教室は隔月5回実施した。 2. 園庭開放、子育て教室時に随時実施した。 3. 園庭開放（年間12回）、子育て教室（年間5回）、出前保育（年間4回）実施した。 4. 地域の子育て家庭に対し、実施した。 5. 老人との交流を図るため、老健施設マリアンヌに訪問した。（9/20） 6. すべて実施した。 NHKに地藏盆の様子が放映された。
利用者の視点	1. 教育・保育内容 ①教育保育要領・保育指針に基づく保育の計画と評価の実施	①教務部を中心に、保育課程に基づく保育の実施 保育要録の作成	①実施した。

	重点実施項目	実行内容	実施結果
利用者の視点	②小学校へつなげる保育	②体操教室を通した体力づくり、ワークなどを通した、音声文化から文字文化への移行を図る。保育要録の作成	②3歳児から、毎月1回の体操教室を実施した。 5歳児は、クラスにて線あそびや文字などのワークを実施した。坐禅会も行い、一定時間座る訓練を行った。
	③障害児保育の実施	③障害の早期発見と早期対応に努める	③障害児3名の保育を実施した。気になる子の記録を取り、巡回相談を利用し早期対応に努めた。
	④伝統行事や文化行事を通した人間としての基本的な型と生きる力を身体で覚える「心と身体の教育」の実施	④花まつり・七夕会・お泊り保育・地藏盆・老人施設訪問・運動会・造形展・もちつき・七草粥・雪あそび・豆まきなどの実施	④すべて実施した。 今年度、初めて花脊山の家にて雪あそびを実施した。
	⑤保護者への保育内容周知	⑤入園のしおり、園だより、クラスだよりの作成・配布、ホームページによる情報提示	⑤昨年の反省点や変更点について運営委員会にて検討し、入園のしおりの修正を行った。 作成した園だよりを毎月ホームページに掲載した。
	⑥保育士の加配	⑥4月当初で3名配置	⑥4月当初で3名加配した。
	⑦虐待児童の早期発見と対応	⑦毎日の視診、長期欠席児の理由確認と市への報告、保健センター等、専門機関との連携	⑦右京区こどもはぐくみ室に長期欠席児の有無や理由を毎月10日に報告した。8月、3歳児1名が母親の出産による里帰りのため1ヶ月休園した。 児童相談所に被虐待認定児童(2名)の出席状況や特記事項を毎月15日に報告した。
	⑧保育環境の充実	⑧保育の充実を図るための保育備品や保育教材の購入 (0,1歳児クラスの仕切り棚・絵本・玩具など)	⑧0,1歳児の仕切り棚を設置した。 玩具、絵本を購入し、充足を図った。

	<p>2. 健康および安全</p> <p>①食育の促進</p> <p>②子どもの健康把握と健康増進を図る</p> <p>③各種避難訓練の実施</p>	<p>①栄養士によるクッキング活動や食育に関する話の月1回以上の計画・実施</p> <p>②身体測定、内科検診、歯科検診、予防接種・既往症歴の把握、山登り・散策</p> <p>③通常の園独自の訓練に加え、警察や消防、救急と連携した防災訓練や救命救急講習の実施</p>	<p>①年間 286 回給食を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8 名のアレルギー児にアレルギー除去食を提供した。 ・ プランターで野菜作りを体験した。 <p>②身体測定（毎月）、内科検診（年 2 回）、歯科健診（年 1 回）、山登り・散策（年 7 回）実施した。</p> <p>③火災訓練 3 回、地震訓練 3 回、地震火災訓練 2 回、水害訓練 1 回、不審者訓練 3 回、消化訓練 12 回、普通救急講習Ⅲを 1 回実施した。</p>
	重点実施項目	実行内容	実施結果
利用者の視点	<p>④環境整備と衛生管理の徹底</p> <p>⑤安全指導と不測の事態への対応</p>	<p>④清掃・設備点検などの実施 整理整頓・清掃、手洗い・消毒の徹底 倉庫の増設</p> <p>⑤各種マニュアルの見直し（虐待防止・不審者対応・アレルギー対応・災害時の対応・事故時の対応・食中毒対策・プール及び水あそびマニュアル）の見直し、充足を図る</p>	<p>④毎日実施した。 倉庫の増設はできなかった。</p> <p>⑤アレルギーマニュアルの見直しを図った。</p>

	<p>3. 保護者支援</p> <p>①園と家庭の相互連絡の充実</p> <p>②1号認定の定員増を図る</p> <p>③低年齢児保育の積極的な実施</p> <p>④働く両親の就労援助</p> <p>⑤安全で安心な遊び場の提供</p> <p>⑥保育サービスの全体的な質の向上を図る</p>	<p>①連絡帳の利用、園だより、クラスだより、まち comi メール、ホームページによる情報提示、子どもの送迎時の対応、苦情相談の受付など</p> <p>②4歳児1名、5歳児1名の計2名</p> <p>③0・1歳児の積極的な受け入れ</p> <p>④延長保育の実施 保育短時間 16:30~19:00 標準時間 18:00~19:00</p> <p>⑤園庭遊具・施設設備の管理・点検</p> <p>⑥保育士、職員の研修の実施</p>	<p>①園だより、クラスだよりは12回発行した。 まち comi メール、ホームページでの情報開示を随時実施した。</p> <p>②1号認定の申し込みがなかった。</p> <p>③0歳児定員12名のところ16名、1歳児定員12名のところ17名を受け入れた。</p> <p>④延長保育は延べ1076名保育した。</p> <p>⑤毎日の遊具の点検および月2回の設備点検を実施した。</p> <p>⑥接遇の講師を招ぎ、研修会を2日間実施した。 ・保育実践に必要な専門知識・技術を向上、習得する研修や保護者対応に関する研修、職場の組織性を高める研修に53回参加した。 ・職員会議では、園内研修を12回実施した。</p>
	<p>4. 苦情解決</p> <p>①苦情への適切な対応をはかり、利用者の満足感を高める</p> <p>②利用者個人の権利を擁護し、利用者がサービスを適切に利用することができるようにする</p>	<p>①投書箱の設置、連絡帳、口頭、電話等による苦情の受付「要望・意見・苦情・相談」発生・解決報告書への記入</p> <p>②苦情解決責任者、苦情解決担当者、第三者委員等の担当者の設置。システム図示、公表。</p>	<p>①実施した。 苦情は12件あった。 口頭2件、電話7件、投書1件 その他(手紙)1件、京都市1件</p> <p>②実施した。</p>
	重点実施項目	実行内容	実施結果
利用者の視点	③苦情を密室化せず、社会性や客観性を確保し、信頼と適性をはかる	③年度末に1年間に発生した苦情件数等を園だより・ホームページ・掲示板を通じて公表	③「要望・意見・苦情・相談」発生・解決報告書への記入(12件あり、内容は別紙の通り)

	<p>5. 保幼小連携</p> <p>①子供同士の交流を図る</p> <p>②教職員の交流、情報交換を図る</p> <p>③地域としての取り組みを図る</p>	<p>①条件が整えば、行事や日常保育での交流</p> <p>②条件が整えば、打ち合わせ、保育参観、授業参観、合同研修会などの実施</p> <p>③保幼小が参加した連絡会への参加</p>	<p>①実施できなかった。</p> <p>②実施できなかった。</p> <p>③連絡会へは1回実施した。その他、電話で連絡会を行った。</p>
<p>財務の視点</p>	<p>1. 園舎内外の不具合部分の修繕</p> <p>2. 計画的な物品購入</p> <p>3. 経費削減対策</p> <p>4. 財務諸表による経営状態の把握</p> <p>5. 職員の処遇改善</p>	<p>1. 毎月と年度末に修繕個所の調査</p> <p>2. 年間予算案の作成</p> <p>3. ①省エネ活動によるクールビズ・ウォームビズ、コスト 掲 示、エアコンの目安表示 ②コピー・水道・電気などの 節 約に取り組む。</p> <p>4. 専門家の指導を受け、財務分析 を受ける</p> <p>5. 園および市の基準に基づき、 処遇改善手当の支給</p>	<p>1. 随時、施設修理依頼・破損状況 報告書に基づき、修繕を実施した。</p> <p>2. 0,1歳児の仕切り棚を設置した。玩具、絵本を購入し、充足を図った。</p> <p>3. 特に経費の変化はなかった。</p> <p>4. ゆびすい会計センターによる財務分析を受けた。</p> <p>5. 年度末の処遇改善Ⅰとキャリアアップ該当者の処遇改善Ⅱを実施した。</p>

業務プロセスの視点	<p>1. 業務改善取組の構築</p> <p>2. 危機管理マニュアルの見直しと点検</p> <p>3. PC管理の確立</p>	<p>1. ①各部・各係のPDCAの作成 と更なる深化 ②園務分掌の検討</p> <p>2. 各種マニュアル（虐待防止・不審者対応・アレルギー対応・災害時の対応・事故時の対応・食中毒対策・プール）の見直し、充足を図る</p> <p>3. フォルダリングによる個人情報の管理の徹底 各クラスへのPC・USBメモリー配布に伴うデータ管理についてのマニュアル作成と管理。</p>	<p>1. ①実施した。</p> <p>②キャリアアップに応じた新たな分掌に変更した。</p> <p>2. アレルギーマニュアルの見直しを図った。</p> <p>3. セキュリティシステムの導入により、法人全体のPCの統一的なセキュリティと共有サーバー設定による共有化を図った。 PC・USBメモリー配布における、データ管理についてのマニュアルを作成した。また、配布したPC・USBメモリーにて作成したデータは、園の共有フォルダに移行し、管理した。</p>
	重点実施項目	実行内容	実施結果
業務プロセスの視点	4. 各部計画の見直しと点検	4. 食育計画・保健計画・安全計画の見直し	4. 実施した。
人材育成の視点	<p>1. 離職防止対策を図る</p> <p>2. 職員の資質向上を図る</p> <p>3. 園内研修の充実</p>	<p>1. 様々な勤務形態を考慮した働きやすい職場づくり</p> <p>2. 分掌、各自の課題に即した研修の設定および積極的参加</p> <p>3. 専門の講師の研修を受ける</p>	<p>1. 月単位変形労働制の勤務時間に基づき、土曜日の過剰な出勤を抑えた。</p> <p>2. 実施した。</p> <p>3. 接遇の講師を招き、研修会を2日間実施した。</p>
	4. 人材の確保を図る	4. 人材派遣会社を起用することのない、積極的な就職フェアの参加やハローワークでの求人、養成校への求人票の送付などを実施	4. 求人票に支度金の支給を設け、ハローワークなど余計な費用が発生しないところからの求人を実施したところ、2名の求人があった。
	5. 職務内容に応じた給与システムの検討	5. 職能等級規程や人事考課規程、キャリアパスを作成し、人事考課を導入する。	5. 人事考課を導入し、職能等級規程や人事考課規程に基づき、考課を行い、賞与や昇給へ反映した。

